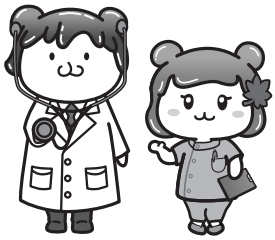
秩父市立病院は60周年を迎えました



秩父市立病院は昭和41年7月1日に開設し、地域の皆さまとともに歩みを重ねて、今年度、開設60周年を迎えました。

この特集では、市立病院の60年の歩みを振り返るとともに、より良い医療の提供に向けた新たな取り組みなどを紹介します。



市立病院の60年を振り返る

秩父市立病院は、昭和36年の国民健康保険診療所を経て、昭和41年７月１日に開設された秩父地域の中核病院です。

開設当初は内科、外科の２科、一般病床17床、伝染症病床23床合計40床からスタートしました。

その後、昭和56年に南館病棟の建設、平成３年に本館病棟の建設を行い、時代の変化に合わせて診療科や病床数を調整し、現在は９つの診療科目とベッド数165床となり、地域の救急医療、急性期医療を支えています。

近年は、地域完結型の地域包括ケアシステムへの取り組みや、医師確保のための専攻医の受け入れを開始するなど、秩父地域全体の医療・介護における中心的役割を担っています。

市立病院のあゆみ（年表）

	沿　革
1961年（昭和36年）	国民健康保険診療所として開設される
1966年（昭和41年）	診療所から秩父市立病院へ移行・開設
1981年（昭和56年）	現在の南館が竣工する
1991年（平成３年）	現在の本館が竣工する
2001年（平成13年）	南館増築棟が完成する。MRI導入
2009年（平成21年）	救急処置室・外来診察室改築、院内保育室設置
2015年（平成27年）	電子カルテシステム稼働
2020年（令和２年）	新型コロナウイルス受け入れ病院となる
2025年（令和７年）	「秩父市立病院建設基本構想」が策定される



開設当初（昭和42年）の病院外観

病院長からのメッセージ

地域住民の皆さまに支えられ、60年という長きにわたり共に歩んでくることができました。皆さまの当院へのご支援・ご理解に対し、病院長として感謝申し上げます。

当院の病院理念は「安心・安全・満足を地域住民の皆さんに」であり、地域住民の皆さまと共に歩み、愛され、信頼される病院を目指しております。

秩父地域は県内でも高齢化が加速している地域であり、健康に対する不安を感じている方も多いと思います。秩父市立病院では、医師や看護師などの医療の専門家が力を合わせ、皆さまの健康を全力でサポートしてまいります。また、医療人材の確保や医療設備の充実にも引き続き取り組んでまいります。

地域の皆さまが安心して秩父地域で生活を送れるよう、住民に愛される病院を目指して取り組んでいく所存です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

秩父市立病院長　島村　寿男

市立病院の新たな取り組み

【在宅医療】

市立病院では、ご自宅で療養中で、通院が困難になった患者さんを対象に訪問診療を行っています。



住み慣れた自宅で安心して生活を続けられるよう、患者さんとそのご家族を支援しています。

【医療連携】

令和８年３月、埼玉医科大学を中心に当院を含む県北西部の８医療機関で地域医療連携推進法人「彩の国ハピネス会」が設立されました。

今後、地域医療を支える人材の育成、救急医療体制の構築、情報の共有化などに取り組むこととしています。

また、本年４月、東京科学大学と連携し「ちちぶ地域医療システム学講座」という寄附講座を新設しました。目的は、総合診療人材の育成や地域医療の質の向上、そして秩父地域の医師確保です。常勤の専攻医１名と非常勤の指導教授１名が同大学から派遣されています。

市立病院の医療機器

導入している医療機器の一部を紹介します。



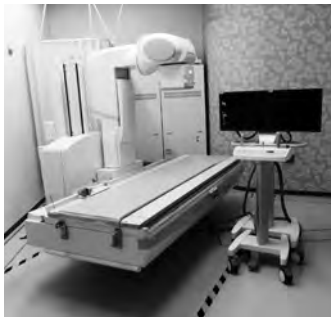
64列マルチスライスCT



1.5T MRI



骨密度測定器



X線TV装置

秩父に新風。



秩父市立病院60周年 ～60年の歴史を力に、地域医療の未来を創る～

秩父市長　清野　和彦

本年7月1日、秩父市立病院は、昭和41年の開設から60周年という大きな節目を迎えました。

これまで60年にわたり、地域の皆さまの命と健康を守るために尽力されてきた歴代の病院関係者の皆さま、そして現在、日々医療の最前線で奮闘されている医師、看護師をはじめとする病院職員の皆さんに、心から敬意と感謝を申し上げます。

秩父市立病院は、秩父地域の中核病院として、救急医療をはじめ、民間の医療機関だけでは対応が難しい不採算部門や専門的な医療を担っています。また、地域の医療機関や医療従事者の皆さまと連携し、地域包括ケアやリハビリテーションなど、住民の皆さまが安心して暮らし続けるための医療を提供しています。

一方で、人口減少や医療人材の不足、医療ニーズの変化など、地域医療を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、これからも将来にわたって地域の皆さまに必要な医療を提供していくためには、果敢に挑戦をしていかなければなりません。

現在、秩父市は新病院の建設に向けて、着実に取り組みを進めています。しかし、必要な改革を新病院の完成まで待つことはありません。今できること、今変えるべきことについては、新病院の建設と並行して一つ一つ着実に実行し、病院の機能とサービスの向上につなげていきます。

そして、これまで以上に、多くの皆さまに信頼され、選んでいただける病院を目指します。

そのために、私自身も病院職員の皆さんと心を一つにし、現場の声を大切にしながら、より良い病院運営に向けて努力していきます。

60年の歴史を大切に受け継ぎながら、その先の未来を創っていく。秩父市立病院を、今まで以上に、地域の皆さまに信頼され、必要とされ、選ばれる病院として未来へつないでいくため、地域医療の充実と新病院建設に全力で取り組んでいきます。

市報ちちぶは、町会の皆さんのご協力で配られています。市役所総合窓口、吉田・大滝・荒川総合支所、各公民館、文化体育センター、市立病院でも配布しています。

2026年

12/2(水)・12/3(木) 秩父夜祭

国指定重要有形民俗文化財
国指定重要無形民俗文化財
ユネスコ無形文化遺産

周辺道路は秩父陸橋平面化工事により大変混雑します！
広域迂回にご協力ください！






秩父夜祭に伴い市役所構内駐車場が一部ご利用できません

11月25日(水)から12月８日(火)は、市役所構内駐車場が一部ご利用できなくなります。

また、12月３日(木)は、駐車場全面が終日ご利用できません。

市役所ご利用の方以外の駐車は、ご遠慮ください。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

問資産マネジメント課☎２２－２２０８

秩父夜祭に伴う市役所構内駐車場【案内図】



会場は大変混雑します！
公共交通機関の利用にご協力ください！



12月２日(水)無料臨時駐車場を設置します

場所 台数	宮地グラウンド ㊐500台

12月３日(木)有料臨時駐車場を設置します

料金	㊎→大型車（大型バス等）	5,000円
	㊍→中型車（マイクロバス等）	3,000円
	㊐→普通車（軽含む）	1,000円
	二輪車	500円

場所・台数	宮地グラウンド ㊐500台	花の木小学校 ㊐300台
	秩父第二中学校 ㊐450台	西小学校 ㊐300台
	南小学校 ㊐200台	秩父第一中学校 ㊐250台
	道の駅ちちぶ裏（太平洋セメント跡地） ㊎80 ㊍20 ㊐700台	
	影森グラウンド ㊐250台	

※秩父第一中学校、影森グラウンドからは無料送迎シャトルバスを運行します。

「まつり価格」の自粛を！

秩父を訪れた観光客の方々に、秩父夜祭を楽しんでいただくとともに、繰り返し秩父を訪問していただくため、「まつり価格」の自粛をお願いします。

秩父夜祭 花火大会



と　き　12月３日㈭
19：30～
第１部　尺玉100連発・大玉スターマイン・黄金の滝
第２部　煙火町競技花火大会
第３部　虹のスターマイン大会
21：50～
フィナーレ・黄金の滝

※内容が変更となる場合があります。

花火情報はコチラ
秩父観光協会

問秩父観光協会
☎２１－２２７７

今年の見どころ



屋台芝居は宮地町が当番町！
12月２日㈫
12:00～14:00　愛宕神社（宮地収蔵庫前）
12月３日㈬
12:30～14:30　秩父神社



迫力満点の団子坂の曳き上げ！
３日の夜にクライマックスを迎えます。

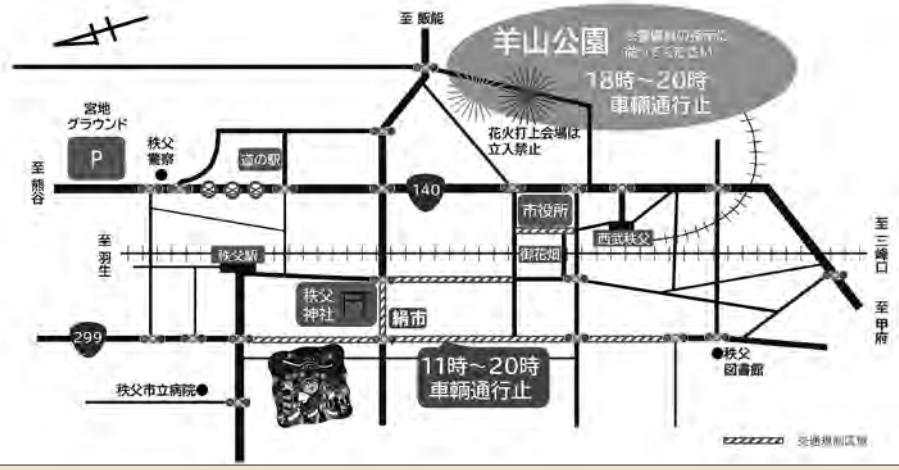


黒門通り周辺では今年も絹市を開催！
12月2・3日両日とも楽しめます。

交通規制図

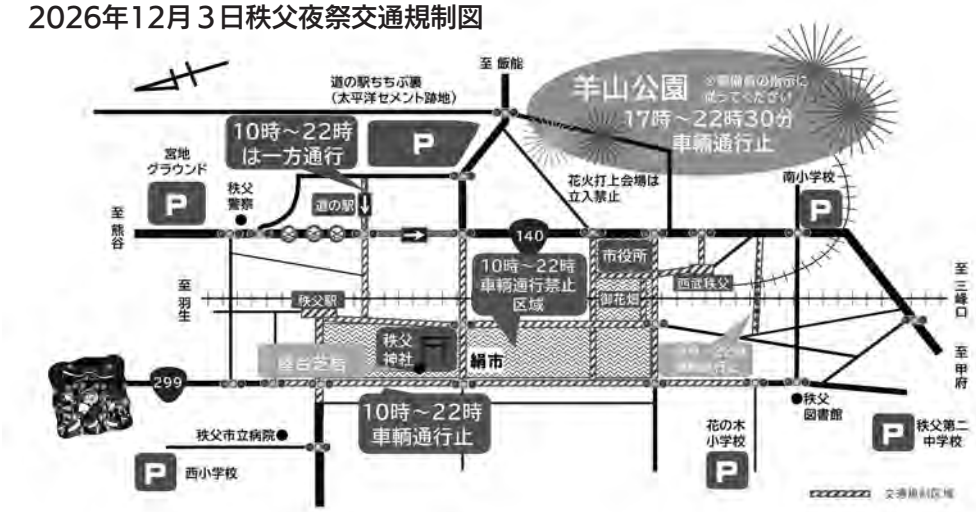
宵宮（2日）

2026年12月２日秩父夜祭交通規制図



大祭（3日）

2026年12月３日秩父夜祭交通規制図



会場周辺でのドローン飛行禁止。
花火は秩父市役所駐車場および
西武秩父駅周辺でご覧ください。

最新情報はコチラ
秩父観光なび

問秩父市観光課
☎２５－５２０９